

さあ一緒に
踏み出す夏へ

山内かなこ

山内かなこさん44歳の歩み

出生／宮崎市に会社員の父、看護師の母の
長女として生まれる
幼少期／家族の支えの中で育つ
作文指導で自信を養う
学生時代／東北大学法学部で挑戦し続け、
演劇部で表現力を磨く
就職活動／20社に応募し、19社に不採用。挫折を味わう
宮日記者／「社会の木鐸」として権力を監視し、
地域の声を伝える
防災士取得／東日本大震災の取材を通じ、
読者の避難行動を支援
家族／結婚・子育てを経験し、
働く母親としての視点を持つ

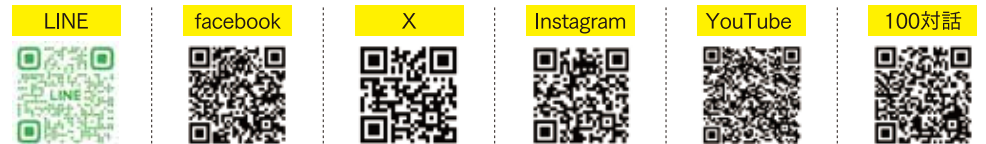
県議会議員としての歩み

子育て支援／実際の子育て経験を基に政策提言
要望活動／地域の声を県政に反映
幹事長経験／交渉力を磨き、政策推進に尽力

国政挑戦への決意

公認／2025年2月24日、立憲民主党より公認を受け、
国政への挑戦を決意

立憲民主党宮崎県参議院選挙区第1総支部
〈山内佳菜子後援会〉事務所
〒880-0022 宮崎市大橋1丁目1番地
TEL/FAX:0985-68-0822



今号は、特集として中面に立憲民主党宮崎県参議院選挙区第1総支部長に就任した
山内佳菜子氏に国政への決意を聞き、掲載しました。

立憲民主党 立憲民主編集部
〒102-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
三宅坂ビル 7F
Tel. 03-3595-9988
Fax. 03-3595-9088

立憲民主党宮崎県総支部連合会
〒880-0001
宮崎市橘通西 5-5-19
TEL : 0985-25-0777
FAX : 0985-25-0788



山内かなさんの決意



昨年、私は大きな決断をしました。シングルマザーとして、二人の子どもと新たな生活を始めることを。順調で、恵まれた人生と思っていた日々。子どもと過ごす時間はかけがえない幸せでした。

しかし、ある日突然、自分だけで背負う重みが押し寄せました。大丈夫だと思っていた未来が、不安とともに揺らぎはじめたのです。頼れるものは何か、本当に守れるのか。でも、その時気づいたのです。社会の大きな手が、私と子どもを支えてくれていることを。

記者として、県議として、多くの声を聞いてきました。現場の痛み、子育ての不安。政策を実現しても、それは対処療法にすぎません。子育ては社会全体の課題であり、少子化対策は経済再生への鍵。それを動かす力は国にしかありません。

だから、私は国政に挑む決意をしました。

日本の少子高齢化は、かつてない速度で進んでいます。2023年の合計特殊出生率は1・20、過去最低。2024年も1・15を下回る見通しです。65歳以上の高齢者は全人口の29・1%を占め、世界最高水準。2070年には総人口が8699万人に減少する見通しです。この国は、静かに、確実に未来を失おうとしています。

子どもたちの笑顔が、この国の未来を照らす光だと私は信じています。出産も育児も、親だけの問題ではなく、社会全体の問題です。人口減少が地域を衰退させ、経済を停滞させている現実。

だからこそ、私は立ち上がります。
一人ひとりの声を、未来への力に変えるために。

私は信じています。

この国を、誰もが支えられ、支え合える国にできると。
その力を、皆さんと一緒に。

「踏み出す夏へ！」どうか、私にその力をお貸しください。

